



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
～学校だより 巻頭言として～

令和7年9月30日(火)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

～子どもたちの“主体性”が芽生えています～

2学期に入って1か月が過ぎました。先日の参観日では、多くの保護者の方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。子どもたちが元気に学び、生活している様子など、日ごろの姿をご覧いただけたのではないかと思います。

校長として授業や取組を見て回る中で、この1か月で子どもたちの行動や関わり方に、確かな変化が生まれてきていると感じます。

例えば、6年生の修学旅行に向けた折り鶴集会の報告では、内容の企画から発表までを子どもたち自身で考え、堂々と伝える姿が見られました。児童会・委員会活動でも、代表委員会は昼休みには学校をよりよくするための話し合いを進めています。図書委員会では、どの本ならみんなが手に取りたくなるかを話し合い、図書



折り鶴集会の様子



図書委員会の本の選定

室に新たに並べる(購入・配架する)本の選定を行っています。体育委員会では、全校児童対象の自由参加企画として「みんなでドッジボール」や「みんなで鬼ごっこ」を企画・運営しています。子どもたちが「みんなが学校を楽しく過ごせるために」どうすればよいかを、主体的に考え、行動する姿が見られるようになってきています。

運動会の取組も大きな変化の一つです。ある学年の団体演技では、子どもたちがグループごとに振り付けを考え、互いに教え合いながら一つの演技をつくり上げています。団体競技でも「どうすれば盛り上がるか」を自分たちで話し合い、ルールを工夫しながら準備を進めています。休み時間には、友達同士で声をかけ合い、自然に自主練習が始まる場面も多く見られます。

子どもたちが考え、つくり上げるものは、必ずしも大人が主導したときほど完成度や見栄えが高いとは限りません。しかし、自分たちの力でやり遂げた経験は、かけがえのない達成感となり、これからの成長の大きな糧となります。

本校の教育目標は「誰もが楽しく幸せに過ごせる別府小学校」です。そのためにも、本校では「子どもが主役の学校づくり」を大切にし、これからも一歩ずつ進めてまいります。私たち教職員は、子どもたちの成長を願い、子どもたちを信じて委ねることで、自己指導力を育み、主体的に学校をつくっていけるよう取り組んでまいります。

どうか保護者の皆さまも、この趣旨をご理解いただき、温かく見守っていただければ幸いです。運動会では、子どもたちが力を合わせてつくり上げた姿を、ぜひご覧ください。